

これではとてもやっていけない！！ 原油高に対する緊急対策を求めます。

ガソリンは１ℓ 180 円、灯油は１缶 2,400 円を超える異常な値上がりが続き、きびしさをます私たちの家計を直撃しています。また、石油製品の高騰は、燃料や資材の値上げとなって、中小の事業者や農林漁業にも大きな打撃を与えています。このままでは、消費者も生産者も事業者もくらしや経営が成り立ちません。国として、効果的な支援対策を要望します。

また、現在の石油製品の異常高騰は、世界的な原油の暴騰が要因であり、その背景には、「投機マネー」の巨額の流入があります。実際の取引量では１％でしかないニューヨーク原油先物市場が「異常高騰」を作り出しており、昨年前半には「50～60 ドル／バレル」だった原油をこの１年で一気に「140 ドル」まで押し上げ、今後「200 ドル」「300 ドル」原油が世界経済を襲うとの予想も出されています。石油の価格安定と安定供給は、世界のすべての国々の経済や、人々の生活の安定に不可欠です。今こそ、日本政府が各国と協力して、「投機マネー」への規制に緊急に取り組むことを要望します。

請願項目

- １．原油高騰の要因となっている「投機マネーの流入」に対して、日本が率先して各国と連携し、規制を行ってください。
- ２．石油備蓄の取り崩し、石油諸税の引き下げなど、石油製品高騰への緊急の対策を行ってください。
- ３．「福祉灯油」の拡充をはじめ、石油への依存度が高い農林漁業、運輸業、零細中小企業への経営安定対策など、緊急の支援対策を行ってください。

名前	ご住所

ぜひご家族みなさんでご協力ください。（年齢に関係なくどなたでも署名いただけます）

取り扱い団体：岩手県生活協同組合連合会

原油高への緊急対策を求める 10 万人緊急署名

この冬は、ガソリン1ℓ200円?! 灯油は1缶2500円?!

これでは、消費者も生産者も事業者もとてもやっていけない!

この冬は灯油1缶で 2,500 円?! なんでもかんでも物価は上がるし、家計はもう大変! いったいどうしたらいいの?

消費者



船の燃料は5年前の3倍! 漁に出れば赤字! 飼料・資材・肥料などコスト急騰で、このままでは岩手の農林漁業がつぶれてしまう!

生産者



工場の燃料コストは1年半で2倍に。いろいろな原材料も上がり続けて、もう経営努力も限界! なんとかして!

事業者



世界的な原油高の原因は「投機マネー」

石油製品の価格は、今や過去最高。この高騰を作り出しているのが、世界的な原油価格の異常高騰。その主な原因は「投機マネー」。昨年前半には「50~60 ドル/バーレル」だった原油をこの1年で一気に「140 ドル」まで押し上げ、今後「200 ドル」「300 ドル」原油が世界経済を襲うとの予想も出されています。

資源エネルギー庁も「需給のバランスで決まる原油価格は、1バーレル当たり50~60ドル程度」(07年度「エネルギーに関する年次報告」)と分析しており、現在の140ドルを超える原油価格はまさに異常な価格です。この投機マネーへの規制を国際的に行い、実際の需要と供給のバランスで価格が決まる本来の姿に早く戻すべきです。そうでないと、一旦は原油価格が下がっても、今後も原油高騰の心配は続くことになります。

国への緊急対策を求めて、消費者・生産者・事業者がいっしょに10万人署名に取り組んでいます。ぜひ、署名にご協力ください。

こうした「投機マネー」の規制をはじめ、原油高に対する国の緊急対策を求めて、県内の消費者・生産者・事業者がいっしょに「10万人緊急署名」に取り組んでいます。「この原油高をなんとかして!」の私たちの声を署名にして、ぜひ国と国会に届けましょう! ぜひ、署名への参加とまわりの方へのよびかけをお願いします。

●署名参加団体

岩手県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会岩手県本部、岩手県漁業協同組合連合会、岩手県森林組合連合会、岩手県クリーニング生活衛生同業組合、社団法人岩手県バス協会、岩手県商工団体連合会、岩手県労働組合連合会、岩手県学校生活協同組合、いわて生活協同組合、岩手県消費者団体連絡協議会、岩手県生活協同組合連合会(順不同)

●署名提出締切 第1次: 9月末 最終: 10月末(10月中に国・国会に提出します。)